

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日:	2023 年 1 月 4 日
事業所名:	夢門塾ゆうゆう高木1組

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	5	1	0	体育館も広いスペースが確保されている。学習室、屋根下に分かれて活動が出来る。パーテーション等を用い、視覚を分けたほうが良いと思うところがあるため、空間の使用方法を工夫していけるよう努める。
	②	職員の配置は適切である	2	3	1	基準人員は満たしている。今後も柔軟に対応できるよう努める。
	③	衛生面の管理が行き届いている	5	1	0	感染対策マニュアルに基づいて実施している。環境整備行き届いていない箇所がある為、より細かな所まで目が行き届くよう努める。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	1	毎月、職員全体でミーティングを行い、改善点を話し合い、次に繋げていけるよう努めている。参加できなかった職員には、申し送りノートを用いて伝達を怠らないよう工夫している。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	6	0	0	保護者様の意見を職員全体で共有し、業務改善に繋げるよう実施している。
	⑥	自己評価の結果を公開している	6	0	0	書面やホームページにて実施している。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	6	0	0	エリア勉強会、職員全体研修を実施している。また、虐待防止・身体拘束・権利擁護・障がい特性理解についてや、衛生管理、緊急時対応などの研修を受けている。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	6	0	0	半年ごとにモニタリングを実施、振り返りや今後に向けての話をしている。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	4	1	1	全職員が関わって活動内容を考案できるよう努める。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	4	1	1	固定化しつつあるため、新しい取り組みや、やり方を工夫していけるよう努める。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	2	3	1	全職員で意見を出し合い、季節に合ったプログラムを企画し、ねらいや目的を持って活動内容を考案していけるよう努める。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	5	1	0	基本的には集団活動を行っているが、子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動をしている。臨機応変に対応できるよう視野を広げていけるよう努める。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	1	毎朝のミーティングにて、職員間で支援内容や役割分担について打ち合わせを実施している。また、ミーティングノートなどを活用し、全職員に周知できるよう工夫していけるよう努める。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	1	正しく記録をとることを徹底できるよう、記入方法の勉強会を行っている。また、支援の検証・改善に繋げていけるよう努める。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0	半年毎にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している。
⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	1	0	基本活動が偏らないよう活動内容を盛り込んでいる。また、夢門塾のコンセプト三本柱の内容も盛り込みながら、より良い活動を行っているよう努める。	

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	0	連携をとり、情報共有を行っている。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	4	2	0	連絡協議会に参加し、情報共有を行っている。就学前に利用していた関係施設において、より密な情報共有が出来るよう努める。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	4	2	0	日頃から連絡協議会に参加するなど、他機関とのつながりを大切にしている。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	0	連絡協議会、地域福祉課、女性こども課等、必要に応じて連携を行っている。オンライン等を活用し、研修・連携の場を広げていけるよう努める。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	6	0	0	利用の様子を連絡帳やコドモン、送迎時の際に保護者様にお伝えしている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	5	1	0	契約時に実施している。必要に応じて対応している。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	4	2	0	送迎時・来所時・問い合わせ等で随時対応している。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	1	4	1	コロナ禍のため実施できなかったため、今後は形を変え、実施できるよう努める。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0	子どもや保護者様からの苦情があれば、迅速に対応し、必要に応じて相談支援専門員を含め対応している。苦情体制は整備している。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	5	1	0	毎月、お便りや月間行事予定を発行している。また、定期的にブログにて情報を発信している。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	6	0	0	個人情報の扱いの書類関連は事業所内に保管し、持出厳禁を維持している。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1	0	必要に応じて電話連絡だけでなく、来所や送迎時の受け渡しの際の対応等で情報伝達出来るよう努めている。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	2	4	0	コロナ禍のため、積極的に参加はできていないが、地域の公共施設等を活用し、開かれた事業運営に努める。
非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	6	0	0	緊急対応、防犯、感染症対策マニュアルを策定、研修を行い、職員に周知している。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	6	0	0	年2回実施している。
	㉒	虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0	毎年、全体研修を実施し、周知している。
	㉓	いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	6	0	0	重要事項説明書に記載がされており、契約時に、身体拘束が必要な場合の説明をしている。
	㉔	保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	5	1	0	与薬表を使用している。服用後の薬袋を保護者様にお返しするようしている。
	㉕	ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	6	0	0	ミーティングで話し合い、閲覧できるようにしている。小さなことでも記し、大きな事故を未然に防ぐことに繋がるように努める。